

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	AT338／文学講義 338 (Lectures on Literature 338)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	日本語学2		
担当者名 (Instructor)	矢田 勉(YADA TSUTOMU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	JAL2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標(Course Objectives)

古代・中世・近世の日本において展開した様々な表記様式のうち、漢字・漢文を利用したものについて理解する。

Comprehending the various styles developed mainly in ancient, medieval, and early modern Japan that use Kanji and Chinese writing.

#### 授業の内容(Course Contents)

古代・中世・近世の日本で生まれた、漢字・漢文を利用した様々な文章表記について、実例の読解を通じて、その変遷のありようについて講ずる。

Through reading comprehension of actual examples of various writing styles using Kanji and Chinese writing which were born in ancient, medieval, and early modern Japan, we will analyse the principle of them transition.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. 日本語と漢字・漢文(総論)
2. 変体漢文とは何か
3. 変体漢文の終着点「候文」
4. 上代の漢文・変体漢文(1) 石文
5. 上代の漢文・変体漢文(2) 石文と正倉院文書
6. 上代の漢文・変体漢文(3) 記紀
7. 中古の漢文・変体漢文(1) 訓点資料総説
8. 中古の漢文・変体漢文(2) 訓点資料読解
9. 中古の漢文・変体漢文(3) 古記録
10. 中古の漢文・変体漢文(4) 古文書
11. 中世の変体漢文(1) 古文書
12. 中世の変体漢文(2) 変体漢文と仮名文の交渉
13. 中世の変体漢文(3) 訓点の変化
14. 中世の変体漢文(4) 真名本

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

各回の講義で取り上げる資料について、予め完全には読めないなりに目を通し(予習)、授業後に読み返す(復習)こと。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(60%) / 小課題(複数回)(40%)

期末レポート・小課題とも、普段の授業の取り組み(予習・復習の程度)を測ることを重視する。

#### テキスト(Textbooks)

全て自作資料(プリント)を使用する。

#### 参考文献(Readings)

授業内で適宜紹介する。

#### その他(HP等)(Others(e.g. HP))

春学期開講の文学講義337(AT337)で述べることを前提として講ずる部分がある。この講義の受講を希望する場合には、可能な限りそちらも履修すること。

#### 注意事項(Notice)